

新庁舎基本設計まとめまる

②



「結のひろば」から正面玄関を望むイメージ

基本設計がまとまった新庁舎建設。12月号では、1階から3階までの平面図とその機能をお知らせしましたが、今回は庁舎に併設する多目的ホールや結のひろばなど、基本設計で検討された庁舎関連の事業や機能のほか、概算事業費、今後のスケジュール、説明会の開催についてお知らせします。詳しくは、市役所庁舎建設対策室(☎・内線1412)まで。

多目的ホール

市民交流の場目指し

多目的ホールは、これまで開催された住民説明会や市庁舎建設検討委員会、市民交流のための施設の要望があり、庁舎に併設するものです。

現在の西根地区市民センター2階大ホールとほぼ同じ広さを持つ大ホールと、仕切りにより2部屋の活用ができる多目的ルーム、湯沸室を配置します。各種総会などの会議、交流事業、講演会などにも利用できます。利用するときには、多目的トイレを完備した結のひろばと庁舎の両方のトイレのほか、庁舎に配置した授乳やおむつ交換、着替えができるキッズルームも開

放することで、誰でも安心して利用できる交流施設を目指します。

結のひろば

待合や休憩のほか各種イベントに活用

庁舎と多目的ホールをつなぐ結のひろば。建物全体の正面玄関がここにあり、弱冷暖房のため、駅利用の待合室機能だけではなく、庁舎や多目的ホールを利用するときの待合・休憩にも利用できます。

壁面利用・パネル設置などによる展示会や喫茶コーナー、通学・通勤時の学習など利用の自由度が高い空間となっています。具体的な利用方法は、今後さらに検討します。

北森駅移設

利便性を図るためにJR東日本と協議

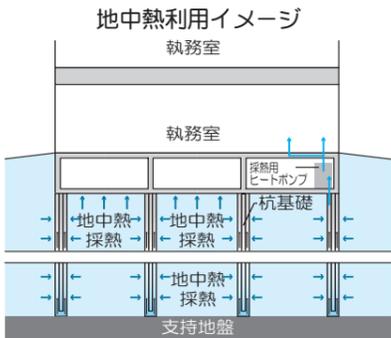
花輪線各駅の環境整備は、市交通政策の重要な課題です。北森駅の場合は、国道282号からの接続の利便性、通勤・通学の夜間の安全性確保などが課題ですが、近接する庁舎建設予定地に駅を移設し、庁舎に隣接することで、これらの課題を解決するだけではなく、庁舎利用の利便性向上を図るものです。

これまで、JR東日本と協議を重ね、現在は移設に関する課題や事業費などについて調査しています。移設の実現に向けて、引き続き協議を進めます。

庁舎内冷暖房

地中熱を利用して二酸化炭素の削減を

庁舎の冷暖房には、地中熱を活用したシステムの導入を予定しています。地中の温度は、年間を通じて13〜15度と一定であり、これを熱源として利用することで、エネルギー効率を高め、少ない電力で温度管理を行います。



概算の事業費

基本計画より増額総額約29億7千万円

これまでお知らせした庁舎の配置・機能などによる基本設計時点での概算事業費は29億7000万円。基本計画策定時より3億9000万円もほど増えています。

これは、①結のひろばを室内空間とし、弱冷暖房化したこと②明るく、人に優しい庁舎を目指すことから、トイレやその他各部屋の機能を充実させ、ロビー空間を広くした

ため、計画面積を上回ったこと③環境に優しい庁舎を目指すことから、地中熱などクリーンエネルギーの活用を図り、初期導入費が増加したこと、などの点が理由に挙げられます。

ただし、左表のとおり、基本計画時に比べて事業費に係る市の実質財政負担額を減らすよう努めています。また、今後の実施設計でも事業費については、引き続き精査した上で、市の実質の負担を減らしながら、より機能的で、利便性の高い庁舎となるよう検討します。

今後のスケジュールは？

庁舎建設事業は現在、造成設計と実施設計を進めています。実施設計を8月に完了し、23年度内に事業の認可を受けて、用地買収と造成工事を計画しています。庁舎本体の建築は、24年度から26年度にかけて実施し、26年度中の完成、移転を目指します。

	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
基本設計	○				
造成設計	○				
実施設計	○	○			
事業認可		○			
用地買収		○			
造成工事		○			
建築工事			○	○	○
外構工事					○

庁舎建設では、クリーンエネルギーを利用し、二酸化炭素排出量を削減するとともに、削減した二酸化炭素分の売買についても予定しています。また、太陽光、木質バイオマスなどの利用についても、引き続き検討します。

■基本計画・基本設計の事業費・財源の比較

	基本計画	基本設計
事業費		
庁舎本体・車庫	17億6,040万円	20億 646万円
多目的ホール	2億2,500万円	3億6,940万円
外構工事設計など	5億9,360万円	5億9,433万円
全体事業費計	25億7,900万円	29億6,933万円

※基本設計の庁舎・多目的ホール事業費は、合算した後、100万円未満を切り捨てた上で、全体事業費を算出しています。

	基本計画	基本設計
支出財源		
庁舎建設基金	10億0,000万円	5億2,544万円
合併特例債(交付税で充てる)(市の返済分)	14億7,900万円(10億3,530万円)(4億4,370万円)	24億1,080万円(16億8,756万円)(7億2,324万円)
一般財源	1億0,000万円	3,310万円
合計	25億7,900万円	29億6,934万円

	基本計画	基本設計
実質負担額		
庁舎建設基金	10億0,000万円	5億2,544万円
合併特例債返済分	4億4,370万円	7億2,324万円
合併特例債返済分利子	1,490万円	2,429万円
一般財源	1億0,000万円	3,310万円
合計	15億5,860万円	13億 606万円

※1万円未満四捨五入のため、合計が合わない部分があります。

基本設計説明会を開催します

新庁舎建設基本設計の説明会は、希望に応じて2月28日(月)まで職員が説明に伺います。基本設計の内容について詳しい説明を聞きたい場合は、次により申し込みください。

■対象 市民または市内で働いている5人以上の団体(組織化されていないグループなども可)当日は、5人以上出席してください。

■開催時間 午前10時から午後9時までのうち、2時間以内

■申込方法 団体代表者氏名、連絡先、希望開催日・時間・場所を電話かFAX(75-0469)で市役所庁舎建設対策室まで申し込みください。日程調整後、随時説明会を行います。

■申込期限 2月15日(火)

■持ってくるもの 広報はちまんたい22年12月6日号(No.117)、23年1月号(No.119=本号)